

R4開始

つるおかし

鶴岡市(山形県)

主な品目

- 水稲



実施体制

鶴岡市有機・循環型農業促進協議会(鶴岡市有機農業推進協議会、JA 鶴岡、JA庄内たがわ、株式会社NEWGREEN SUPPLY、鶴岡市)

面積情報

有機農業取組面積:102.5ha
耕地面積に占める割合:0.6%
(令和5年度時点)

1 背景・課題

鶴岡市においては、平成19年度に有機栽培に取り組む農業者等による「鶴岡市有機農業推進協議会」を設立し、有機栽培の技術講習会や市内学校給食への有機栽培米提供事業等により、有機栽培への理解促進、消費拡大の取組を行っている。近年は高齢化により有機栽培の取組を断念する農業者が出てきており、人材確保や有機農産物のブランド化、農作業の労力軽減化対策が急務となっている。

2 成果目標

有機米の作付面積拡大

R3年度 63.2ha → R9年度 68ha

有機野菜(ベビーリーフ)の販売数量拡大

R3年度 27t → R9年度 30t

3 主な取組内容

生産

- 鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS」による人材育成
- 有機栽培技術普及のための講座開催
- 実証展示ほ場の巡回による除草技術の共有
- 化学肥料削減に向けた取組
- 小売店等のニーズに則した生産の検討
- 労力軽減を図る農業用機械の導入支援
- 有機JAS認証取得者の拡大推進

加工・流通・消費

- SHONAIROOTS※と連携した高付加価値販売に向けた販路拡大
- 市内全小中学校で有機米、有機野菜給食を実施するため有機食材を提供
- 販売イベントへの出展と有機農産物のPR



鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS」入校生による有機農業を学ぶ人材育成の取り組み



SHONAIROOTS※と連携した高付加価値販売に向けた販路拡大



市内全小中学校で有機米、有機野菜給食を実施するため有機食材を提供

※(株)NEWGREENSUPPLYの有機・特別栽培農産物のブランド

4 これまでの成果

市内全小中学校の学校給食用の食材として、有機野菜(ベビーリーフ)を年3回提供している。

【学校給食での導入回数】

R3: 0回 → R6: 3回

5 今後の展望

有機農業の推進に向けては、次世代の人材育成と有機農産物の高付加価値販売に向けた販路拡大が必要である。今後は、課題解決に向け、有機農業実践講座等による人材育成に取り組むとともに、高付加価値販売による全国市場等への流通促進や、市内学校給食での取組を通じ、地元の消費拡大にも取り組む。

問い合わせ先

鶴岡市農林水産部農政課 TEL:0235-35-1295(ダイヤルイン)